



「学校評価」アンケートを基に課題解決を目指して

12月16日(木)14:00~15:50第4回「学校運営協議会」を開催しました。今回は、運営協議会の冒頭、行程の危険区域の柵設置の状況と全学級の授業を参観していただき、本校の現状を見ていただきました。会長の挨拶を賜った後、校長が挨拶しました。その後来年度の学校経営方針(グランドデザイン等)について、資料を基にした校長の説明と、2学期の学校評価について学校側からの説明を行いました。その後、危険区域と通学路の関係についてや各委員からのご意見を伺ったり、情報交換をしたりすることができました。次回(第5回)は2月3日(木)に実施する予定です。
なお、1月20日(木)には、学校運営協議会委員による本校3年生を対象とした面接体験が実施されます。

本年度の学校運営協議会委員

Table with 2 columns: Name and Position. Includes: 元東区公民館長, 学習塾塾長, 志新会会長, ライオンズクラブ会員, 保護司・民生委員, 前森山校区公民館長, 田之浦校区公民館長, 潤ヶ野小保護者 学校歯科医, SSW安楽小運営協議会委員, PTA会長, PTA副会長・おやじの会会長, 志布志中学校校長, 志布志中学校教頭, 志布志中学校教諭 (CS担当)

第4回学校運営協議会報告

1 授業参観

- 今回も、新型コロナウイルス感染症予防対策として、廊下からの参観として実施した。
※ 校庭脇の危険箇所を確認し、本校や市教委による柵の設置などの対応に納得された。
※ 「3年生の保健体育で学級を空けているクラス内の、かばん棚や机・椅子の整理状況が素晴らしい」とのお褒めの言葉があった。
※ タブレット端末などのICTを活用している授業が多く、特にロイロノートの機能を活用した意見の集約状況を初めてご覧になった方もいらっしゃった。



2 意見交換の内容

- Q 学力向上という言葉が、グランドデザインの中にあっても良いのではないか。
A 検討して参りたい。
Q 特別支援の知的と情緒の区別を教えて欲しい。
A 知的障害はIQが基準に達しない生徒、情緒は学力はあるが授業中離席したり大声を発したりなど情緒が安定しない生徒である。
Q コロナ禍においては、オンライン授業が必要ではないか。
A 通信環境を整える必要がある。
Q 日本は諸外国に比べてタブレット端末の普及が遅れているが、どう考えているか。
A 端末の操作に慣れさせておく必要がある。
Q 女性の地位を上げる議論を反映して、何か学校では動きがあるか。
A 本校は、1・2学年主任が女性である。生徒会やPTA役員においても、男女の区別をしていない。来年度からは、名簿を男女混合にする予定である。また、女性管理職任用に向けた取組を促進している。
Q 性同一性障害の生徒がいるか。
A 在籍しており、保護者と話し合いをした上で、服装は男女差のないジャージ着用を許可している。
Q 時見坂は避難ルートであり、手すりや外灯を設置できないか。要望書を提出できないか。
A 本市のハザードマップでも急傾斜地に指定されており、土砂災害発生時には大変危険であり、人は通せない。
Q 自力登校を推奨するのであれば、使用を認めるべきではないか。
A どのような方法があるか検討する。



今後の学校運営協議会での検討事項等

- ※ 確認事項
○ 1月20日(木)、学校運営協議会委員による本校3年生を対象とした面接体験を実施(依頼文による)
※ 第5回運営委員会は2月3日(木)開催予定